

特別展

初代 志野宗信没後五百年記念 香道 志野流の道統

会期 | 2023年3月4日(土)～5月31日(水)

— 究極の名香「蘭奢待」、特別展示 —

推古天皇3(595)年、淡路島に香木が漂着したことから、日本の香文化の幕が開けます。仏教という宗教儀礼の中で香木は多用され、平安時代には貴族たちがその栄華を香りの調合と和歌に表し、また、遣唐使の廃止による国風文化の勃興と併せ、中国とは別の日本独自の“香の道”を歩み始めます。そして、応仁の乱後、東山慈照寺(銀閣)に於いて、足利八代将軍義政公の同朋衆志野宗信(しのそうしん 1443-1523)の手によって香道の基礎が作られ、以降現代まで、志野流は500年以上に亘り20人の家元によってその道統を継承されてきました。江戸時代には、京都だけに留まらず、徳川将軍家庇護のもと、全国武家や江戸城大奥、公家、僧侶から市井の人々にいたるまで賞玩され、高雅な芸道として成熟します。

本展は、室町時代後期に誕生した日本文化の最高峰“香道”を、初代志野宗信から現家元20代幽光斎宗玄まで連綿と守り抜いてきた志野流500年の道統を紹介するものです。細見美術館では、2003年の「香りの美術—貴なるものへの憧れ—」展以来、20年ぶりの“香”の展覧会となります。奇しくも本年は細見美術館開館25周年の節目の年であり、志野流初代志野宗信の500回遠忌を迎える年でもあります。

この記念すべき年に、香道の歩みを振り返り、貴重な名香と香りにまつわる美術工芸品の数々を展覧いたします。

展示構成

| 第1章 | 「香道」の世界

世界にも類稀な香りの総合芸術「香道」を、様々な道具を通して紹介します。

[主な作品]

- 志野流初代志野宗信画像 江戸時代 縦 106.0cm×横 36.0cm
志野上棚(四季棚) 幅 32.5cm×奥行 64.0cm×高 61.0cm
十種香箱 縦 17.5cm×横 32.5cm×高 21.5cm (全て松隠軒蔵)



志野流初代志野宗信画像(部分)
江戸時代 松隠軒蔵

| 第2章 | 「志野流」の世界

志野流歴代家元にまつわる名香・香道具の展示を通して、志野流の伝統を紹介します。

[主な作品]

- 志野流四代休斎宗悟画像 江戸時代 縦 98.0cm×横 25.7cm
志野流九代葆光斎宗先画像 江戸時代 縦 98.0cm×横 25.5cm
諸国香道門人帳・門人帳 江戸時代 縦 14.0cm×横 40.9cm (全て松隠軒蔵)



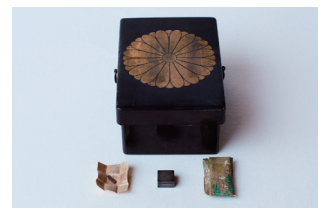
諸国香道門人帳・門人帳
江戸時代 松隠軒蔵

| 第3章 | 「香木」の世界

志野流歴代家元20人が人生をかけて守り伝えてきた名香たちを特別展示します。

[主な作品]

- 六十一種名香(思羽包)
名香「蘭奢待」一材
志野流伝来 家木「伽羅」 (全て松隠軒蔵)



志野流伝来 名香「蘭奢待」
松隠軒蔵

| 第4章 | 「香道」と日本文化

志野流や細見美術館所蔵の茶道具などから香りの道具を展示します。

[主な作品]

- 志野宝珠形香合 桃山時代 長径 5.0cm×高さ短径 4.0cm 細見美術館蔵
源氏香図本 土佐守光貞画 江戸時代 幅 15.2cm×奥行 13.2cm×高 5.7cm 松隠軒蔵
古法志野結び十二ヶ月(志野袋) 江戸時代 縦 38.0cm×横 30.0cm 松隠軒蔵



源氏香図本 土佐守光貞画
江戸時代 松隠軒蔵

【志野流について】

志野流は、室町幕府足利八代将軍義政公に仕えた初代志野宗信を流祖とし、宗信が創始した流儀としての香の作法、精神を現代に至るまで五百年にわたり途切れることなく継承してまいりました。現在は、パリ、上海、ボストンなど含め国内外に広く発信、日本文化の保護、また、世界との文化交流の一翼を担っております。宗信の功績として、義政公の命により将軍家所持の名香百八十種を分類、更に三条西実隆公所持の六十六種を精選し、今日まで香道に携わる者の亀鑑となっている、いわゆる「六十一種名香」を定めたことがあります。今回、その中から究極の名香「蘭奢待」を特別展示いたします。

さらに志野流は、禁門（蛤御門）の変（1864年）で家を焼かれ、苦渋の決断で都を離れてからの歴代家元の思いのもと、ついに2024年、160年ぶりに歴代家元が命を懸けて守り抜いた香木たちと共に京都に帰ります。

足利将軍家、徳川将軍家をはじめ、これまで多大なご支援を頂いた皆様に心から感謝をしつつ、香道と志野流、五百年の伝承と思いを、広く届けることができましたら幸甚に存じます。

会期中のイベント

聞香体験会、調香師・ソムリエとの香り対談、講演会、香りのイベント等を開催する予定です。（詳細はHP等でご案内いたします。）

特別展 初代 志野宗信没後五百年記念－香道 志野流の道統－

Special Exhibition The 500th Memorial Service Exhibition of the Founder Sōshin Shino- KODO Tradition of Shino-ryu -

会期 2023年3月4日(土)～5月31日(水)

開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（ただし、5月29日は開館）

入館料 一般 1,500円 学生 1,300円

主催 細見美術館 一般社団法人志野流香道松隠会 京都新聞

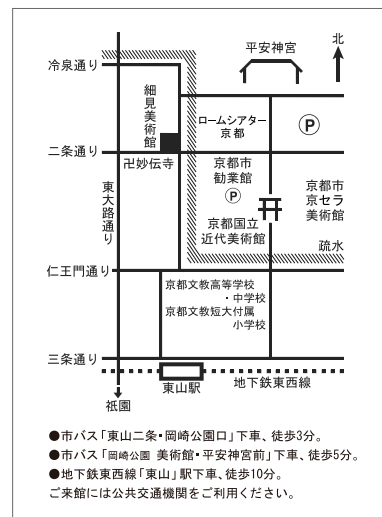
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 <http://www.emuseum.or.jp>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

本件連絡先

細見美術館 広報担当 大塚

TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) kouhou@emuseum.or.jp



資料（画像）・取材をご希望の方は、ホームページリリースページもしくは右記QRコード「資料（画像）申込フォーム」からお申込みください。

